

生涯学習等の現状と今後について

齊藤 貢一 議員

質問 生涯学習の目指すべき姿について伺います。

答 教育基本法第3条では、理念として、国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を

適切に生かすことのできる社会の実現を図らなければならぬと規定しています。

質問 学校教育、家庭教育、社会教育も広義的には生涯教育に含まれ、幅広い範囲になると理解していますが、市が主催している市民大学講座については、5回の講演を聴くという受け身の内

容ですが、今後については、発表や議論を深めて、より向上する場として、学級別により行う考えはあるのか、伺いします。

答 本市においては、年間を通して生涯学習館市民の会や公民館主催の学級講座等も行われており、市民の学びたい気持ちに寄り沿った学習支援を今後も推進してまいりたいと考えております。

質問 スポーツも生涯学習の一環であり、夜間照明の

質問 市長の政策の中には、犬に関するものが多く見られますが、綱吉公の事績や遺徳の中で、どのようなものを生かして、まちづくり

や市民の学習意欲に役立てていくのか、伺います。
答 動物介在活動が注目を浴び、医療福祉面や防災面でも使役犬として活躍しています。生涯学習を通じて、動物を介在した市民福祉向上のためのプログラムが胎動し始めることを期待しています。また、人を育て、生かす「シビックプライド」の醸成という点に着目しつつ、どのように生涯学習に取り組むべきか、検討研究を重ねてまいります。

保育園と学童保育所の現状と課題について

篠木 正明 議員

質問 本市の保育園の現状と課題は何ですか。

答 保育園数は公立9園、私立6園、合計15園で、利用定員は公立と私立を合わせて1600人となっています。入所児童数は1604人で、入所率は100%を超えています。課題は保育士不足や待機児童問題な

ど5つあります。
質問 入所児童数は定員を超えているとのことですが、保育園別にみると、公立で利用定員と28人の差があります。保育士不足で基準を満たす保育士の配置ができないため、定員まで預かれないのだと思います。臨時保育士の賃金等は佐野市の

ほうが良く、保育士が佐野市に流れる傾向があります。利用定員まで預かれるような体制にするため、臨時保育士への処遇改善を今後、どう考えていくのですか。

答 職員採用については人事課と調整しながら行っていきたくと考えています。
質問 本市の学童保育所の現状と課題は何ですか。

答 公共施設の活用や施設の増改築などを念頭に、既存施設の調査を進めたいと考えています。
質問 最低基準の児童一人あたり面積を公共施設の活用や増築でクリアできるのですか。

答 臨時保育士の賃金もあるので、人事課との調整が必要ですが、保育士不足や待機児童解消を考えると、今後検討しなければならぬと認識しています。

答 利用基準の40人を大幅に超える学童保育所もあるなど、利用児童数の増加に伴い、学童保育所が不足しています。

質問 最低基準を下回るような増築で良いのですか。

質問 安定的な保育を保障するには、正規の保育士の

質問 学童保育所の不足をどう解決するのですか。

答 増築を行う場合には最低基準に合致するよう進めていきたいと思っております。